

国立北部周辺地区（その2）大規模雨水処理施設整備事業

（様式1）

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	国立北部1-1・2-1・2-5・2-6・2-7・2-12処理分区、国立南部2処理分区の国立北部周辺地区（その2）は、古くから下水道整備を進めてきた合流地区であるため、平均経過年数が35年を超えており、老朽化が進行している。これらの下水道施設について適切な機能確保を図り、浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：50mm/hr ・目標とする理由：国立市公共下水道は多摩川流域下水道北多摩二号処理区のため、流域下水道の計画降雨に合わせている。 <p>②目標設定</p> <p>下水道管の老朽化に伴う被害を未然に防止し、下水道管の流下機能を低下させることなく安定した下水道サービスを提供する。</p> <p>i)生命の保護の観点：当該排水区に存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設の床上浸水を防止する。</p> <p>ii)都市機能の確保の観点：機能保全水深を20cmとする。</p> <p>iii)個人財産の保護の観点：家屋の床上浸水を防止する。</p> <p>iv)その他：特になし</p> <p>③ハード対策，ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <p>i)ハード対策</p> <p>老朽化した下水道施設の改築を実施。</p> <p>ii)ソフト対策及び自助</p> <p>民間開発や住宅等の新築、建て替え及び公共施設整備の際、敷地内等に雨水貯留浸透施設の設置を促進。また、既存住宅への雨水浸透施設の設置助成事業を促進。</p>

項 目	内 容 ・ 施 策 等		
内水ハザードマップ策定状況	・ 有 （令和3年8月策定済み）		
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者 ・ 管渠施設の改築 管更生 L=36.5kmのうち緊急度が高いものが対象
		ソフト対策	下水道管理者 ・ 降雨情報の収集 ・ 既存住宅への雨水浸透施設の設置助成事業を促進
	自助	ソフト対策	・ 民間開発や住宅等の新築、建て替えの際に、住宅内等に雨水貯留浸透施設の設置を促進

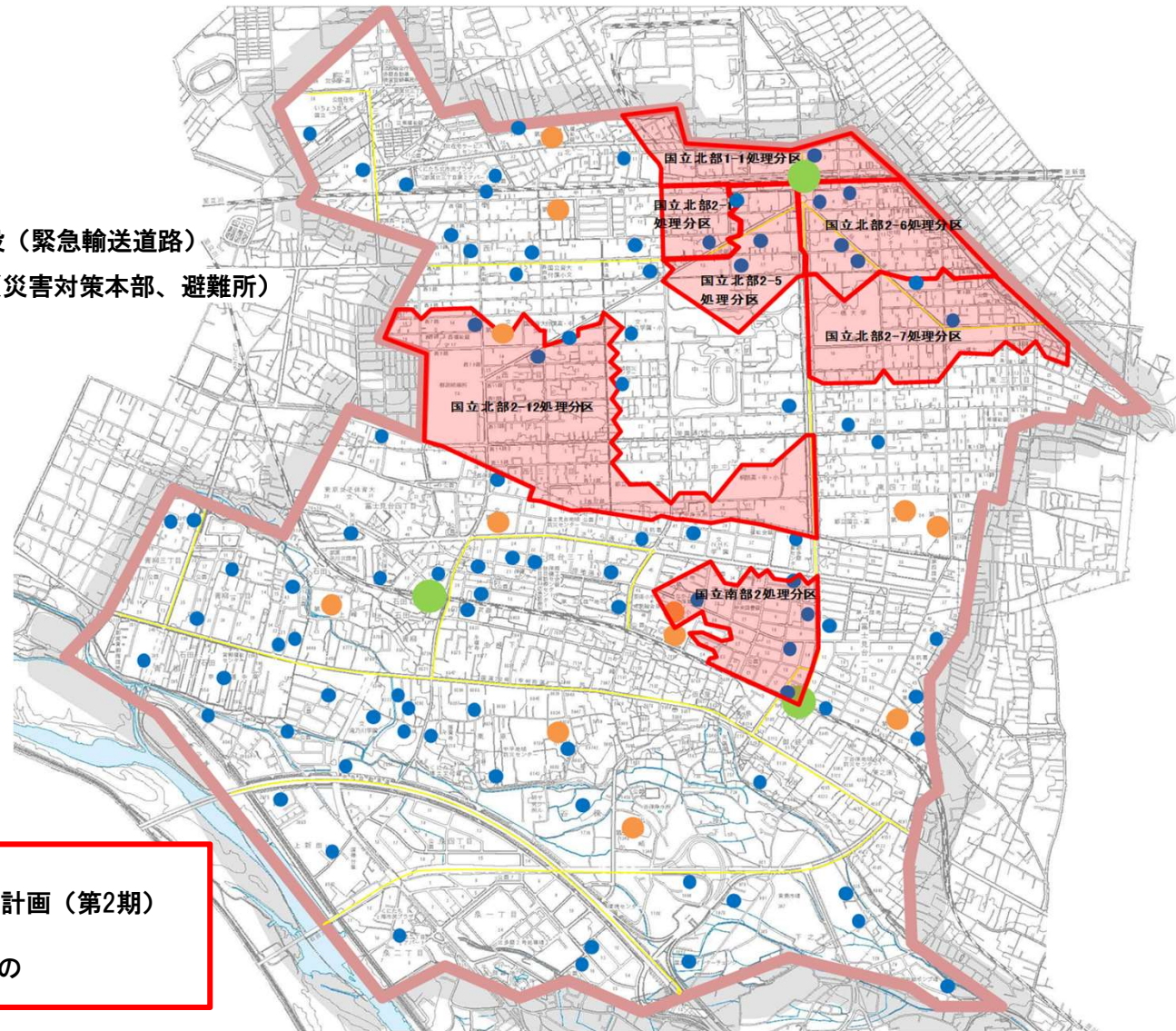
年度計画（百万円）

名称	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	計
合流管渠	27		489	489	489						1494

項目	内容・施策等
整備効果	・標準耐用年数 50 年を超過していく公共下水道施設について、雨水排水機能を適切に確保する（50mm/hr 5年確率）。

国立北部周辺地区(その2)大規模雨水処理施設整備事業(参考図面)

- 計画対象区域界
- 駅
- 地域防災計画に位置付けられた施設(緊急輸送道路)
- 地域防災計画に位置付けられた施設(災害対策本部、避難所)
- 要配慮者関係施設



事業内容
国立市公共下水道ストックマネジメント計画(第2期)
事業期間 R5~R9
管更生 36.5kmのうち緊急度が高いもの